

① 学習指導案

| | |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プログラム | No. 5 「 地域カルタをつくろう 」 |
| 单元名 (全 時間) | 城北たんけん～この町、大すき～ (全25時間) |
| 学習のねらい | 地域のよさ、素晴らしさに気付き、自分の言葉で語れるようにする。 自分のすむ町のよさを実感し、ふるさと城北を大切に思う気持ちをもつ。 |
| 学習内容 | 1 地域で探索活動を行い、地域のよさを見付ける。 2 分かったことを劇やペープサートにまとめ、地域の方に発信する。 3 城北探検に行ったことを振り返り、「ふるさとカルタ」を制作する。 4 「ふるさとカルタ」を保護者に発信する。 5 「ふるさとカルタ」で遊ぶ。 |
| 参考資料 | 彦根カルタ |
| 準備品 | デジタルカメラ3台・カルタ用画用紙 |
| 実施場所等 | 教室・学区内にある施設や寺社 |

学習の流れ（3学期10時間）

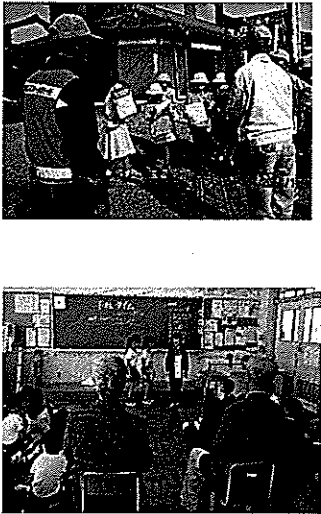
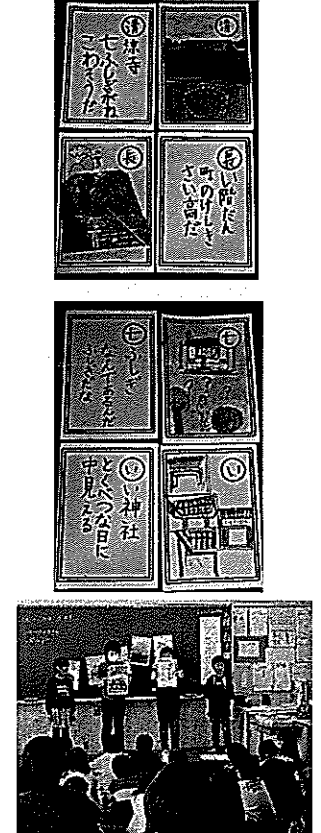
| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|----|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | ○2学期に実施した地域探検で分かったことや気付いたことなどを振り返り「ふるさとカルタ」に表したいことを書き上げる。 | ・2学期の地域探検を想起させるため、写真を用意する。 | ○カルタを作る目的意識や伝える相手意識をもち学習への意欲を高めている。 |
| 7 | ○「ふるさとカルタ」を作る。 ・読み札を作る。 ・絵札を作る。 (カラーペン、絵の具を使って仕上げる。) | ・彦根カルタを用意し、カルタ作りの見本にできるようにする。 ・大きなカルタの札を用意し、文字や絵をかきやすいようにする。 | ○見付けた地域のよさが伝わるよう、読み札や絵札を工夫している。 |
| 2 | ○「ふるさとカルタ」を紹介する。 ・学習参観で、保護者にカルタを紹介する。カルタに込めた思いを自分の言葉で話す。 | ・1、2学期の学習についても発表し、学習参観が、学習のまとめになるようにする。 | ○カルタやカルタに込めた思いを自分の言葉で話している。 |

<留意点>

- ・1学期、2学期の探索活動を通して見付けた城北学区のよさをカルタ作りに生かした。
- ・カルタに見付けた城北学校のよさを表現し、保護者に向けて発表するという目的意識・相手意識をもたせて学習をスタートした。

② 事業実施報告書詳細

学校名 彦根市立城北小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録 (写真) | 対象者の反応 |
|-----|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15 | 教室 各方面 ・佐和山方面 ・琵琶湖方面 ・彦根城方面 | 城北たんけん ～この町、大すき～ 2学期 パート1 探検に行こう！ ① 地域の自慢について考える。 ② 地域探検の計画を立てる。 ③ 興味のある3方面に分かれ、地域探検に行く。 ④ 地域の歴史について調べたり探検して分かったことをまとめたりする。 ⑤ 地域の方に発表する。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自慢がたくさんあるな。もっと詳しく知りたいな。 ・自分たちの住んでいる地域でも知らない場所や知らないことがあるんだな。 ・地域の方も知らないようなことを調べて発表できて、嬉しい！ |
| 10 | 教室 | 城北たんけん ～この町、大すき～ 3学期 パート2 城北ふるさとカルタを作ろう！ ① 2学期に実施した地域探検で分かったことを振り返り、カルタに表したいことを書き上げる。 ② 読み札を考える。 ③ グループで読み合う。お互いにアドバイスをし合う。 ④ 絵札を考える。 ⑤ 読み札を作る。 ⑥ 絵札を作る。(カラーペン、絵の具を使って仕上げる。) 学習参観で、保護者にカルタを紹介する。カルタに込めた思いを自分の言葉で話す。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・調べてきたことをカルタに表そう！どんな読み札にしようかな。 ・読み札に書いた内容がよく伝わるような絵札にしたいな。 ・お家の人の前で、分かりやすく発表しよう。カルタに込めた思いも伝えよう。 ・紹介できてよかった。友だちのカルタにも工夫がいっぱいある！面白いな！ ・地域の自慢がたくさん見つけられた。地域の歴史を大切にして、人々に伝えていこう。 |

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

実際に地域に出かけ、見たり地域の方に聞いたりしたことをもとに、発表やカルタ作りをした。子どもの自由な発想を生かすために、カルタの読み札や絵札を作る際に、できるだけ制限をなくし、絵札には絵だけでなく写真を貼ったり、読み札を「五・七・五」でなくてもよいようにしたりした。

町のことを大切に思う気持ちを高めるために、最後の発信する先を、普段お世話になっている地域ボランティアの方や保護者に設定した。

(2) 実施にあたり苦労した点

地域探検に行くときに、3方面に分かれて見学したので、その分、地域ボランティアを募るのが大変だった。また、地域のことを説明できるボランティアの方を、なかなか集められず、見学に行っても見るだけになってしまう箇所もあった。

(3) 児童の反応

児童はふるさと探訪オリエンテーリング（たてわり班で地域を歩きながら、6年生が地域のことをガイドする学校行事）を3年間経験しているので、町の自慢を調べることに對してとても意欲的だった。また、分かったことや気付いたことを地域の方や保護者に伝えることで、より地域のことを大切にしたいという思いが深まった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

子どもたちとともに、地域探検に行くことで、教師自身が初めて知ったことがたくさんあり地域のよさを再発見することができた。また、地域にある施設などは、昔から地域の方々が大切に残してきたものであることを改めて感じ、地域への理解を深めることができた。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

今年度の総合的な学習の時間は、前年度の年間計画を見直し、「地域のよさ」という観点にしぼり、学習を行った。年度毎に、年間計画や単元計画を見直し、児童の実態に合わせたリ、改善したりしていきたい。

また、出来上がった「ふるさとカルタ」を子どもに返したが、学校に残して、学校の財産としていくことも、学習のゴールとしてよかったかもしれない。